

# 新たな都立公園の整備と管理のあり方について（審議）



# 「新たな都立公園の整備と管理のあり方」 審議内容

## 1 都立公園を取り巻く社会状況

- ・東京都の総合計画「未来の東京」戦略
- ・国の施策の動向
- ・都立公園を取り巻く社会状況（みどり、生物多様性、気象、風水害、地震、歴史文化・観光、人口、健康、コミュニティ、「新しい日常」への対応）

第1回審議  
令和4年11月

## 2 これまでの取組の成果と課題

- ・パークマネジメントマスタープランに基づくこれまでの取組レビュー

第2回審議  
令和5年2月

## 3 目指す2040年代の都立公園の姿

- ・先を見据えた取組の充実を図るための検討の視点（案）に基づく2040年代の都立公園の姿

第3回審議  
令和5年3月

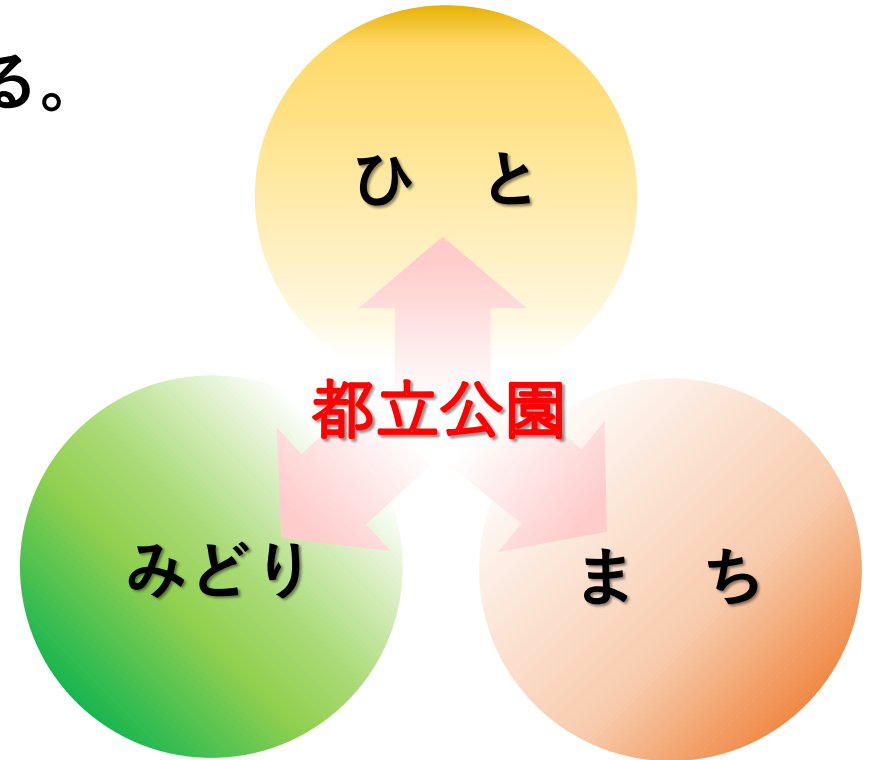
## 4 道筋となる取組の方向性（2030年代へ）

- ・検討の視点（案）に基づく2040年代の都立公園の姿への道筋となる取組の方向性

# 目指す2040年代の都立公園の姿

- ◎ 東京の重要な都市アセットとして、  
レジリエントで豊かさを享受できるまちの暮らしを支え、  
人の力を高め、人とひとのつながりを紡ぐみどりとなり、  
成長と成熟が両立した「未来の東京」を実現する。

都立公園は、まちの暮らしや人を支え、つなげる、  
東京のみどりの基盤として中心的な役割を担う。



# 目指す2040年代の都立公園の姿

## 「豊かなみどりを育み、次世代へとつなぐ公園」

都立公園の更なる拡がり、緑の創出・保全に大きな役割を果たし、次世代につなぐ東京の緑の骨格の中心となって、緑が持つ多様な機能を最大限に発揮し、躍動する都市活動を支える重要な都市アセットとなる。あわせて、世界をリードする緑と調和した美しく潤いのある環境先進都市の実現に寄与している。

## 「人中心の魅力溢れるまちづくりの核になる公園」

地震や水害などの様々な災害への対応など、都市活動の基盤となる安全・安心を確保しながら、国内外の人々が集い、憩う場となってまちの賑わいを創出し、東京ならではの文化の創造発信や歴史の継承などにより、都市の社会経済活動を活性化させ、東京が誇る魅力に磨きをかけている。

## 「都民一人ひとりのウェルビーイングを高める公園」

多様性と包摂性に富む持続可能な社会を構築し、子供から高齢者まで、障がいの有無や国籍などに関わらず、誰もが安心して快適に利用できる空間となり、都民一人ひとりのライフスタイルに柔軟に応えながら、人々の交流を育み、自分らしく生き生きとした暮らしを支えている。

# 道筋となる取組の方向性（2030年代へ）

2040年代の新たな都立公園の姿の実現に向けて、3つ視点から取組を実施していく。

## 「豊かなみどりを育み、次世代へとつなぐ公園」

①緑の骨格を形成する

②多様な生き物の生息・  
生育環境を支え、自然  
の大切さを伝える

③グリーンインフラとして  
の機能を発揮する

## 「人中心の魅力溢れるまちづくりの核になる公園」

①災害から都民の命を守る

②地域に活力をもたらし、  
賑わいを創出する

③まちの歴史や文化を継承  
する

## 「都民一人ひとりのウェルビーイングを高める公園」

①共に支え合う  
インクルーシブな空間を  
創出する

②多様なライフスタイルに  
柔軟に応える

③誰もが安心して心地よく  
過ごせる場を提供する

多様な主体との連携

DXの推進

# 豊かなみどりを育み、次世代へとつなぐ公園

## ①緑の骨格を形成する

都立公園が東京の緑の骨格となり、都市のまとまった緑として面的な広がり確保しながら、樹林地や湧水等の豊かな自然の残る丘陵地や崖線、河川等とともに水と緑のネットワークを形成する。また、まちに融け込み、ゆとりと潤いのある都市空間を形成する。

整備にあたっては、地域の緑の核となるよう周辺環境と調和を図りつつ、防災や環境等の観点から重要な箇所や整備効果を早期発現する箇所等への重点化を図るとともに、多様な主体とも連携して計画的かつ効果的な公園整備を進める。更に、東京に相応しい質の高い緑となる管理を持続させるとともに、新しいデジタル技術等を積極的に取り入れ、設計・施工の期間短縮等、効率的で効果的な整備や管理につなげていく。

### □2030年代への取組イメージ

#### ●公園整備の推進と迅速化

- ・新規公園の開園や既設公園の拡張
- ・優先整備区域の設定による計画的な事業展開
- ・官民連携等、様々な手法を活用した公園の拡張整備
- ・ICT施工やBIM/CIM等の導入による効率的な整備 等

#### ●多様な主体との連携

- ・河川や道路等、他の都市インフラと連携した整備
- ・周辺民有地等の緑やオープンスペースと連携した整備 等

#### ●周辺環境と調和した整備・管理

- ・公園の立地特性をふまえた、周辺景観や環境等と調和した整備や維持管理
- ・自然樹形を活かした美しい景観を保ち、緑のもつ多様な機能を高める整備や維持管理 等



都市のまとまった緑である都立公園

# 豊かなみどりを育み、次世代へとつなぐ公園

## ②多様な生き物の生息・生育環境を支え、自然の大切さを伝える

都立公園を生物多様性を支える重要な拠点の一つとしていくため、新規公園の開園や既存公園の拡張を通じて、生息・生育空間の確保に取り組んでいく。樹林地、草地、水辺等の公園の特性に応じて、多様な生物の生息・生育環境の整備を進めるとともに、里山環境のように人の手が入ることで維持される生態系を、健全に保つための管理を継続的に行っていく。

また、ワンヘルスの考え方も踏まえつつ、生物多様性の価値を広く都民が認識し、保全に向けた行動変容が進むよう、都市で暮らす人々に最も身近な緑として、自然とのふれあいや環境学習の場を創出していく。

### □2030年代への取組イメージ

#### ●生物の生息・生育環境を確保するための公園整備の推進

- ・丘陵地公園等の新規開園や既存公園の拡張
- ・国際的な環境保全の目標である「30by30」の達成に向けた、OECM（保護地域ではないが、効果的な保全が行われている場）認定の取得 等

#### ●健全な生態系を維持するための環境整備や管理

- ・モニタリングを行いながら、結果に合わせて対応を変えていく順応的管理
- ・丘陵地公園等における、雑木林の更新やナラ枯れ対策等による里山環境の保全
- ・科学的データの蓄積・公表と、それに基づく整備や維持管理の推進
- ・隣接自治体等との連携による周辺地域も含めた広域的な保全の推進 等

#### ●自然とのふれあいや環境学習の場となる整備・管理と人材育成

- ・公園管理者のほか、ボランティアや学校等の様々な主体による環境教育や保全活動の充実
- ・都民が気軽に参加し、自然とふれあえるイベントの充実
- ・人の健康と動物の健康や自然環境の健全さは一体であるというワンヘルスの考え方に基づく、公園の整備や維持管理と、普及啓発の推進 等

#### ●生物多様性保全の中心的役割を担う動植物園における取組の充実

- ・飼育や栽培の知見を活かした生息域内保全や、希少種の保護、増殖などの生息域外保全の推進 等



雑木林の下草刈り



環境学習の場としての活用

# 豊かなみどりを育み、次世代へとつなぐ公園

## ③グリーンインフラとしての機能を発揮する

都立公園が環境改善や防災・減災等に寄与するグリーンインフラとして、温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>を吸収する樹木や雨水を貯留・浸透させる地表面の確保のため、既存樹林地の保全や植栽地の整備を行うとともに、機能を最大限発揮するよう適切な管理等に取り組んでいく。また、公園全体としての環境負荷を抑えるため、再生可能エネルギーの導入等に取り組んでいく。

さらに、環境問題について、都民が学び、考え、行動する契機となる普及啓発を推進し、身近な学びの場としていく。

### □2030年代への具体の取組イメージ

#### ●雨水流出抑制機能の向上に資する整備と管理

- ・ 既存樹林地の保全や、植栽地の整備と維持管理
- ・ 透水性舗装や浸透柵等の整備と維持管理 等

#### ●CO<sub>2</sub>吸収機能をもつ樹林地等の創出と機能を高める管理

- ・ 良好な樹林地の保全や創出につながる丘陵地公園等の新規開園や既存公園の拡張
- ・ 樹木の健全な育成につながる維持管理や大径化した樹木の更新 等

#### ●環境負荷を抑える施設整備・管理の推進

- ・ 公園施設への太陽光発電設備等による再生可能エネルギーの活用
- ・ 管理車両へのEV車導入など、CO<sub>2</sub>排出を抑えた維持管理の推進
- ・ 伐採材の再利用等による廃棄物削減 等

#### ●環境問題やグリーンインフラとしての機能に関する普及啓発

- ・ 雨水の貯留浸透による減災効果や、炭素の蓄積量等のグリーンインフラの効果の可視化
- ・ 環境問題や、公園の果たしている役割に関する情報発信 等



丘陵地公園の整備



雨水の貯留浸透を促進する広場



# 人中心の魅力溢れるまちづくりの核になる公園

## ①災害から都民の命を守る

都市の中のオープンスペースとして、様々な自然災害の発災時において、避難場所や救出救助の活動拠点としての機能を効果的に発揮する公園整備を推進する。平常時の利用に加えて、電気等のインフラが停止した際にも利用可能なフェーズフリーな防災施設の充実に取り組んでいく。さらに、気候変動等に伴い激甚化する風水害へ対応するため、浸水時にも利用可能な防災施設の整備や、避難経路の確保等に向けた公園の高台化を進めていく。

発災時における自助・共助を強化するため、地元自治体や地域住民と危機意識を共有、連携し、平常時からの普及啓発や訓練に取り組んでいく。

### □2030年代への具体の取組イメージ

#### ●震災時の救出救助の活動拠点や避難場所等となる公園整備の推進

- ・新規公園の開園や既設公園の拡張によるオープンスペースの確保
- ・非常用発電設備等、平常時かつ災害時に利活用できる防災施設の拡充 等

#### ●浸水時にも対応可能な高台と防災施設の確保

- ・スーパー堤防整備や土地区画整理事業等と連携した高台まちづくり
- ・平常時かつ災害時に利活用できる防災施設の拡充 等

#### ●雨水流出抑制機能の向上に資する整備と管理

- ・樹林地や植栽地、透水性舗装や浸透柵等の整備と維持管理 等

#### ●利用者や地域の安全確保のための整備と管理

- ・土砂崩れ防止のための法面保護対策
- ・強風による倒木防止のための樹木診断や大径木への対応 等

#### ●地元自治体との連携等による、発災時の迅速できめ細やかな対応に向けた備え

- ・高齢者や障がいをもつ人等、避難に困難を抱える人々を誰も取り残さないための、住民参加による防災訓練等の実施
- ・ライブカメラ等を活用したリアルタイムでの災害情報収集と発信
- ・イベント等による、公園の防災機能や災害時の公園利用に関する普及啓発や情報発信 等



防災トイレの設営訓練



台風時の増水状況  
(荒川下流河川事務所「出水速報」より)

# 人中心の魅力溢れるまちづくりの核になる公園

## ②地域に活力をもたらし、賑わいを創出する

地域の身近な憩いの場である公園を中心とした、活力ある魅力的なまちづくりを目指し、まちとの調和を図りつつ、都民一人ひとりのニーズに柔軟に応えながら、賑わいを創出し、公園の魅力を発信していく。さらに、都民や地元自治体、町会・自治会、NPO、企業等の様々な主体との連携により、緑とオープンスペースがもたらす公園の本来機能を確保しつつ、まち全体への賑わいにつなげ、先進的な取組を率先して行っていく。また、インバウンドの促進につながる国際観光拠点やエンターテインメントの場としても広く活用し、国内外の誰もが楽しめる環境の整備や発信を進めていく。

### □2030年代への具体の取組イメージ

#### ●地域を巻き込む賑わいの創出

- ・民間の自由な発想やノウハウを取り入れた整備、維持管理や新たな利用促進
- ・河川や道路等との更なる連携により、まちあるきをやすく回遊性を向上
- ・地域の商店（キッチンカー）や、期間限定店舗の出店
- ・花の魅力の充実や光の演出等による賑わいの創出 等

#### ●観光の拠点として地域の経済をけん引

- ・季節の花の名所や歴史ある文化財庭園等を東京ならではの観光拠点として情報発信
- ・プロジェクションマッピング等による新たな魅力の創出、発信
- ・ヘブンアーティスト等芸術文化活動により賑わいを生み出し、新たなアーティストの活躍の場の提供 等

#### ●誰もが楽しめる魅力的な環境の整備と情報の発信

- ・ライブカメラ等を活用した、リアルタイムでの公園情報発信
- ・動画や3Dマップ等、オンラインでも楽しめるコンテンツの発信
- ・葛西臨海水族園における再生整備事業等、動物園や水族園、植物園におけるさらに魅力を高める整備や情報発信の推進 等

#### ●公園に関わり、支える人材の育成

- ・地元自治体や地域住民、民間事業者等の多様な主体とのパークミーティングや管理運営協議会等の設置・開催 等

#### ●地域のニーズをふまえた特色ある取組の推進

- ・新たな利活用方法やサービス、ドローンやモビリティ等の新たな技術の社会実験や仮運用を通じて、地域の変化するニーズの把握や対応を試行的に実施 等

# 人中心の魅力溢れるまちづくりの核になる公園

## ③まちの歴史や文化を継承する

江戸から続く文化財庭園や開園150年を迎える上野恩賜公園、昔ながらの里山の文化が残る丘陵地公園や戦災の記憶を留める公園など、公園は東京の歴史や文化を伝える貴重な存在である。東京の歴史や文化を次世代に継承していくため、文化財庭園の保存、修復や復元等の実施や公園の特性を踏まえた再生整備を行い、歴史を伝える公園として保存していく取組を行っていく。

また、都民のまちへの理解を深め、まちへの誇りと愛着を高めるために、地域の歴史を体感し、学べる場として活用する取組を進めていく。

### □2030年代への具体の取組イメージ

#### ●伝統技術の継承による文化財庭園等の保存、修復や復元等の実施

- ・保存管理計画に基づく文化財等の修復や復元
- ・文化財庭園における伝統文化の発信
- ・公園の歴史ある施設に関するデータの保存、設計・工事への活用 等

#### ●長い歴史や地域の特性を踏まえた再生整備の推進

- ・上野恩賜公園や日比谷公園など、東京の歴史や文化を伝える公園の再生整備を推進
- ・エリアマネジメントによる地域との連携や文化施設等との連携 等

#### ●公園の成り立ちなど地域の歴史や文化を学び、体感できる場の提供

- ・関東大震災等について記憶をとどめる横網町公園等からの発信
- ・ボランティアと連携した里山での農業体験等、地域の昔ながらの歳時や歴史を学べる、リアル・バーチャル両面からのプログラムの実施
- ・バーチャルでのかつての生活や風景の復元や、イベントの充実等の多様な手法による展開 等



復元された旧岩崎邸庭園の芝庭



震災や戦災の記憶を伝える  
横網町公園の慰霊堂

# 都民一人ひとりのウェルビーイングを高める公園

## ①共に支え合うインクルーシブな空間を創出する

子どもから高齢者まで幅広い世代、障がい者や外国人など、誰もが快適に過ごし、交流できるインクルーシブな公園としていくため、訪れた誰もが使いやすいユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した施設の整備を行っていく。

また、人々が共に支え合い、お互いを認め合い、生き生きと過ごせる公園としていくために、利用者や公園周辺の居住者など多様な関係者の意見を取り入れるよう、公園運営への参加を促進する仕組みづくりや、相互の交流を育む取組を実施する。

### □2030年代への具体の取組イメージ

#### ●訪れた誰もが使いやすい施設の整備推進

- ・園内を移動する複数のバリアフリールートを設置やトイレの洋式化、施設におけるジェンダーレス対応など、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた施設整備の徹底
- ・案内サインやガイド等の多言語化 等

#### ●子供と共に楽しみ、くつろげる整備・管理の推進

- ・屋内遊び場、だれもが遊べる児童遊具広場等の子供も親も安心して遊べる施設整備
- ・地元自治体等と連携したプレーパークの拡充
- ・子供も親も楽しめるイベントの実施
- ・子供の意見を取り入れた整備や維持管理の実施 等

#### ●人々が交流し、支え合う管理運営

- ・ユニバーサルデザイン遊具の利用促進と普及・啓発を目的としたイベントを開催
- ・多様な関係者が設計や管理運営に参画し、交流できる環境整備や仕組みづくり 等



だれもが遊べる児童遊具広場



利用者同士が交流できる掲示板

# 都民一人ひとりのウェルビーイングを高める公園

## ②多様なライフスタイルに柔軟に応える

都民のウェルビーイングを高め、豊かな暮らしを支える公園としていくため、年齢に関わらず、日常的に体を動かすことにより、健康の維持・増進につながる、ウォーキングやランニングなど気軽に取り組める環境を提供していく。

また、誰もが自分らしく過ごすことができるよう、様々なコミュニティ形成の拠点やボランティア活動の場となることで交流を生み出し、社会参加や学びの場として自己実現につながる機会を提供していく。

### □2030年代への具体の取組イメージ

#### ●子どもから高齢者まで多様な運動ニーズに応える環境の充実

- ・ウォーキング等の軽運動ができる環境や、多様なスポーツに対応できる運動施設・広場の拡充
- ・一人でも様々なスポーツを気軽に楽しめる環境づくり
- ・スポーツの体験プログラムや大会、健康増進イベント等の実施
- ・パラスポーツの魅力を伝える場の提供 等

#### ●多様な学びの場の提供や、都民の公園管理への参画等の推進

- ・誰もが気軽に様々な体験が可能なプログラムの実施
- ・環境・歴史・健康・食育など、公園ならではの多彩な学びの場として活用
- ・パークミーティングや管理運営協議会等への参加の促進
- ・子供を始め、利用者の意見を取り入れた整備や維持管理 等

#### ●世代等に関わらず、多様な人々の交流を生み出す管理運営

- ・子どもから高齢者まで多くの世代が集まり交流できる、季節を感じるイベント等の実施
- ・公園のボランティア活動等の促進による、コミュニティの拠点づくり
- ・リアルに加え、SNS等も活用した交流の促進、利用状況の分析 等



ウォーキング教室などの健康増進イベント



多くの世代の交流イベント

# 都民一人ひとりのウェルビーイングを高める公園

## ③誰もが安心して心地よく過ごせる場を提供する

独りでも、家族でも、誰と出かけても、休息や運動等、思い思いに気軽に利用できる施設を整備するとともに、利用の際の安心につながるきめ細やかな植栽管理を行っていく。

また、施設の管理については、橋梁をはじめとする構造物の健全度調査を行い、計画的に長寿命化や更新を図る。園路広場の舗装等においては、利用者等からの日々の情報収集により効果的な改修を行っていく。

更に感染症等に備え、自由に憩える身近な屋外空間としていつでも快適に利用できる施設整備を行っていく。

### □2030年代への具体の取組イメージ

#### ●誰もが自由に過ごせる空間の確保・創出

- ・一人で静かにくつろぐためのベンチや、交流の拠点となる広場や多目的スペース等、様々なニーズに応える施設整備
- ・利用者からの提案を取り入れて、思い思いの過ごし方を実現
- ・剪定、刈込等による質の高い植栽管理 等

#### ●いつでも安心して利用できる、良好な管理

- ・小型構造物も含めた施設の長寿命化計画の策定とその実施
- ・巡回警備や芝刈りロボット、ドローンによる剪定等、省力化した管理手法の導入
- ・公園施設等の情報のデータベース化と維持管理への活用
- ・利用者による公園施設の損傷・不具合等の情報投稿システムの導入 等

#### ●人々が集まる中でも清潔で、快適に利用できる施設整備と管理

- ・施設を快適に利用できる部材の選択やきめ細やかな維持管理
- ・手洗い場の拡充やトイレ等における非接触型設備の導入
- ・ライブカメラ等を活用した、リアルタイムでの混雑状況の発信 等



自由に過ごせる広場空間



長寿命化計画の対象となる公園橋

# 共通の取組み

## ①多様な主体との連携

個々のニーズをもつ都民、より住民に近い地元自治体、地域に密着したネットワークをもつ町会や自治会、独自のアイデアやノウハウを持つ民間事業者、様々な専門性をもつNPO等の様々な主体が相互に連携し、それぞれの強みを生かして整備や管理に参画させていく。

### □2030年代への具体の取組イメージ

#### ●豊かなみどりを育み、次世代へとつなぐ

- ・河川や道路等、他の都市インフラと連携した整備
- ・周辺民有地等の緑やオープンスペースと連携した整備
- ・公園管理者のほか、ボランティアや学校等の様々な主体による環境教育や保全活動の充実 等

#### ●人中心の魅力溢れるまちづくりの核になる

- ・高齢者や障がいをもつ人等、避難に困難を抱える人々を誰も取り残さないための、住民参加による防災訓練等の実施
- ・地元自治体や地域住民、民間事業者等の多様な主体とのパークミーティングや管理運営協議会等の設置・開催
- ・民間の自由な発想やノウハウを取り入れた整備、維持管理や新たな利用促進
- ・河川や道路等との更なる連携により、まちあるきをしやすく回遊性を向上
- ・ボランティアと連携した里山での農業体験等、地域の昔ながらの歳時や歴史を学べる、リアル・バーチャル両面からのプログラムの実施
- ・地元自治体や住民と連携した防災訓練等の実施 等

#### ●都民一人ひとりのウェルビーイングを高める

- ・多様な関係者が設計や管理運営に参画し、交流できる環境整備や仕組みづくり
- ・公園のボランティア活動等の促進による、コミュニティの拠点づくり
- ・地元自治体等と連携したプレーパークの拡充 等



管理運営協議会の開催



ボランティアによる花壇づくり

デジタル技術をはじめとした新たな技術を導入、活用することで、施設や植栽地等の整備や管理の効率化、質の向上を図るほか、様々なニーズに応じたサービスを提供し、公園利用者にとっての利便性の向上や交流の促進、更なる公園の情報と魅力の発信を行っていく。

### □2030年代への具体の取組イメージ

#### ●豊かなみどりを育み、次世代へつなぐ公園

- ・ ICT施工やBIM/CIM等の導入による効率的な整備
- ・ 雨水の貯留浸透による減災効果や、炭素の蓄積量等のグリーンインフラの効果の可視化 等

#### ●人中心の魅力溢れるまちづくりの核になる公園

- ・ 新たな利活用方法やサービス、ドローンやモビリティ等の新たな技術の社会実験や仮運用を通じて、地域の変化するニーズの把握や対応を試行的に実施
- ・ ライブカメラ等を活用した、リアルタイムでの公園情報発信
- ・ 動画や3Dマップ等、オンラインでも楽しめるコンテンツの発信 等

#### ●都民一人ひとりのウェルビーイングを高める公園

- ・ リアルに加え、SNS等も活用した交流の促進、利用状況の分析
- ・ 公園施設等の情報のデータベース化と維持管理への活用
- ・ 巡回警備や芝刈りロボット、ドローンによる剪定等、省力化した管理手法の導入
- ・ 利用者による公園施設の損傷・不具合等の情報投稿システムの導入 等



ロボット草刈機



My City Report for citizens (MCR)

スマートフォン向けアプリを使用した  
損傷等の投稿情報システム



# 主な課題や意見への対応

## これまでの取組における主な課題

緑の拠点の更なる創出に向けた取組が必要

生物多様性を高める順応的管理の継続実施が必要

身近な自然とのふれあいについて、多様なプログラムを展開し更なる充実が必要

震災対策の継続に加え、風水害等の災害へ対応することも必要

公園の特性や民間の参入意向等をふまえ、連携を深めていくことが課題

各公園の歴史や文化を活かした再生整備を進めることが必要

庭園の復元と適切な維持管理等の継続と、魅力的な情報発信が課題

あらゆる来園者の心に残る空間づくりを更に進める必要あり

来園者からトイレやベンチ等の清潔さや快適性を求める声は大きく、対応が必要

寄付とともに、地域住民等あらゆる主体との更なる連携を深めていく必要あり

## 取組の方向性

緑の骨格を形成する

多様な生き物の生息・生育を支え、自然の大切さを伝える

グリーンインフラとしての機能を発揮する

災害から都民の命を守る

地域に活力をもたらし、賑わいを創出する

まちの歴史や文化を継承する

共に支え合うインクルーシブな空間を創出する

多様なライフスタイルに柔軟に  
応える

誰もが安心して心地よく  
過ごせる場を提供する

DX

多様な主体との連携

## 前回までの主な意見

生物多様性地域戦略との連携・OECMの認定・グリーンインフラと生物多様性保全

ワンヘルスアプローチの視点

都立公園がまちづくりの核となるということ  
を打ち出す

公園が地域の顔となるような  
ブランディングを

観光の視点へのより強化。発信だけでなく  
より訪れてもらう利活用を

公園を中心としたエリアマネジメントの  
視点

新たな都市に必要とされるサービスの  
社会実験の場として利活用

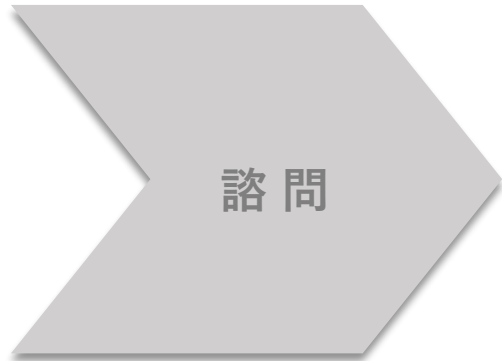
お年寄りと若者のふれあえる公園づくり

公園人材を増やし  
適切な官民連携の  
あり方

広域的な視点を持ち他自治体と連携、  
都がイニシアチブをとって前向きに

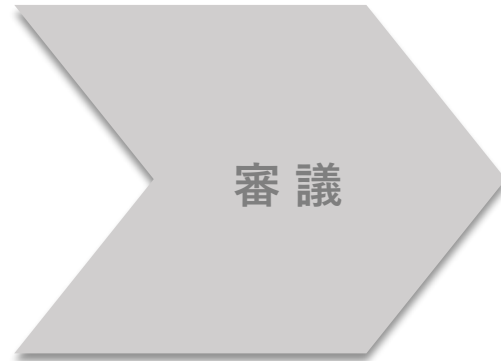
# 検討スケジュール

○第1回  
(令和4年11月25日)



1. 東京都の総合計画  
（「未来の東京」戦略）
2. 都立公園を取り巻く  
社会状況
3. 都政モニターアンケート
4. これまでの都立公園の  
取組と成果
5. 検討の視点（例）

○第2回  
(令和5年2月1日)

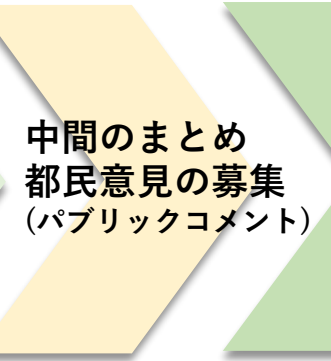
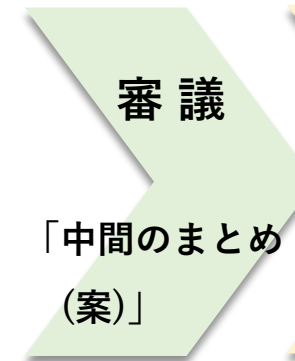


1. これまでの取組と成果の  
レビュー
2. 検討に当たっての視点  
・2040年代の都立公園の姿  
・取組の方向性

○第3回  
(令和5年3月30日)



○第4回  
(令和5年4月頃)



○第5回  
(令和5年6月頃)

